



広報 ～市民と行政の架け橋～

# にかほ

彩り豊かに。2013にかほの夏

8月15日と16日、旧町単位で3つの大きな夏祭りが開催されました。市民の手で復活をとげた「夢の祭典 in 潮風」「金浦湾頭まつり」、歴史をさらに刻んだ「日本海花火フェスティバル」の会場は多くの市民の笑顔で彩られていました。



主な内容

- 国際交流：アナコーテス市を訪問… P 2～3
- 国際交流：ショウニー市が来市… P 4～5
- まちの話題… P 6～7
- 行政情報チャンネル… P10～13
- 暮らしの掲示板… P14～15
- 戸籍の窓口、9月のカレンダー… P17

vol.191 **9.1**  
2013

がんばろう東北

## 一緒に歩こう にかほ市

デスティネーションキャンペーン

今年の10月～12月に、秋田DCが開催！これはJRの大型観光企画で全国から観光客が訪れます。

これを機に観光関係事業者が連携し、秋田の魅力为全国の方々に知ってもらうことで秋田県全体の観光振興につながっていくことでしょう。

そこで、このコーナーでは「にかほ市観光案内人」が考える、にかほ市の魅力を市民の方々に紹介したいと思います。DC本番にむけ市民のみなさんも当市の魅力に誇りをもって頂ければという思いで、お送りします。



さらに1分ほど歩くと、休憩を兼ねて白川湖月堂さんで一休み。お店のご好意によりお客さんにお茶のサービスがあり、このおもてなしに感謝。お客様の評判も良好です！すぐ左手に浄専寺があり、戊辰戦争の際は、秋田の本陣で野戦病院として使われました。

さらに北上すると、左手に菅江真澄が泊まった岡本屋、右手前方に佐々木製菓があります。その先には芭蕉が訪れた際、相手をした嘉兵衛の跡地、そのすぐそばに兄の又左衛門の跡地があり、どちらも直系の子孫が現在も住んでおります。

象潟川の方へ進むと、右側に塩越城の跡、左側に熊野神社があります。芭蕉が訪れた日、熊野神社の祭典で宿が、女性のお客さんでいっぱい「向屋」に泊まったと記されています。この先には、欄干橋（正式名は「象潟橋」）があり、隆起する前、この橋から見る鳥海山の眺めはとても素晴らしく、芭蕉、曾良が帰る18日は天候も快晴となり、眺めてあとにした事と思われます。

欄干橋からは「蛸満寺・九十九島」を目指します。蛸満寺・九十九島は次回、ご紹介いたします。

※所要時間：蛸満寺を拝観した場合3時間、拝観しない場合2時間程度の行程です。

にかほ市観光案内人協会 伊藤 良明

シリーズ第4回

## 「にかほの魅力」

～芭蕉も歩いたコース  
「象潟まち歩き」～

松尾芭蕉の「奥の細道」最北の地、で知られる象潟には、全国各地から多くの人々が訪れており、今回は「象潟のまち歩き」をご紹介します。

JR象潟駅から山海堂十字路を右折、左側に「御蔵屋敷」の案内板、右側前方に「木戸」の案内板があります。「御蔵屋敷」は、矢島藩の年貢米を保管する米倉と番所が置かれた所。「木戸」は、江戸時代に市中への入口や要所に警戒の為、簡単な門が設けられた所です。

旧国道を北上し、3分くらい歩くと、芭蕉が泊まった向屋さんと能登屋さん、またモダンな洋風の建物・公会堂があります。ここは紅蓮尼の生誕の地であり、また芭蕉生誕300年を記念して1988年に設置された、芭蕉が3日間当地で過ごした一部を描いた壁画があります。

企画・編集／にかほ市広報委員会 発行／にかほ市役所  
〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地  
☎0184-43-3200 (代表) ☎0184-43-7510 (直通)  
電子メールアドレス info@city.nikaho.lg.jp



第29回 国民文化祭・あきた2014  
平成26年10月4日(土)～11月3日(月・祝)

広報「にかほ」は、にかほ市ホームページでもご覧いただけます

ホームページアドレス <http://www.city.nikaho.akita.jp>